

## ② 案

### 【見直しの概要】

- ・ 準備料金への配分割合は 28.1%とする。
- ・ 一般用φ13の準備料金はφ13(910円)とφ20(1,120円)の差の約二分の一を付加しφ13を1,010円、集合家事用の準備料金は一般用のφ13とφ20から一般用と集合家事用の差の約二分の一を減額しφ13を910円φ20は1,020円とし、φ25以上の準備料金は現行どおりとする。
- ・ 水量区画と単価区分は7段階6区分とし、10,001m<sup>3</sup>を超え以外の6段階5区分で単価を減額する。

### 【見直しの効果】

- ・ 一般用と集合家事用及びφ13使用者とφ20使用者の格差は現行より縮小しました。
- ・ φ13の少量使用者以外では、現状と比べて料金負担は概ね軽減しました。
- ・ 逡増度は現状より拡大しました。